



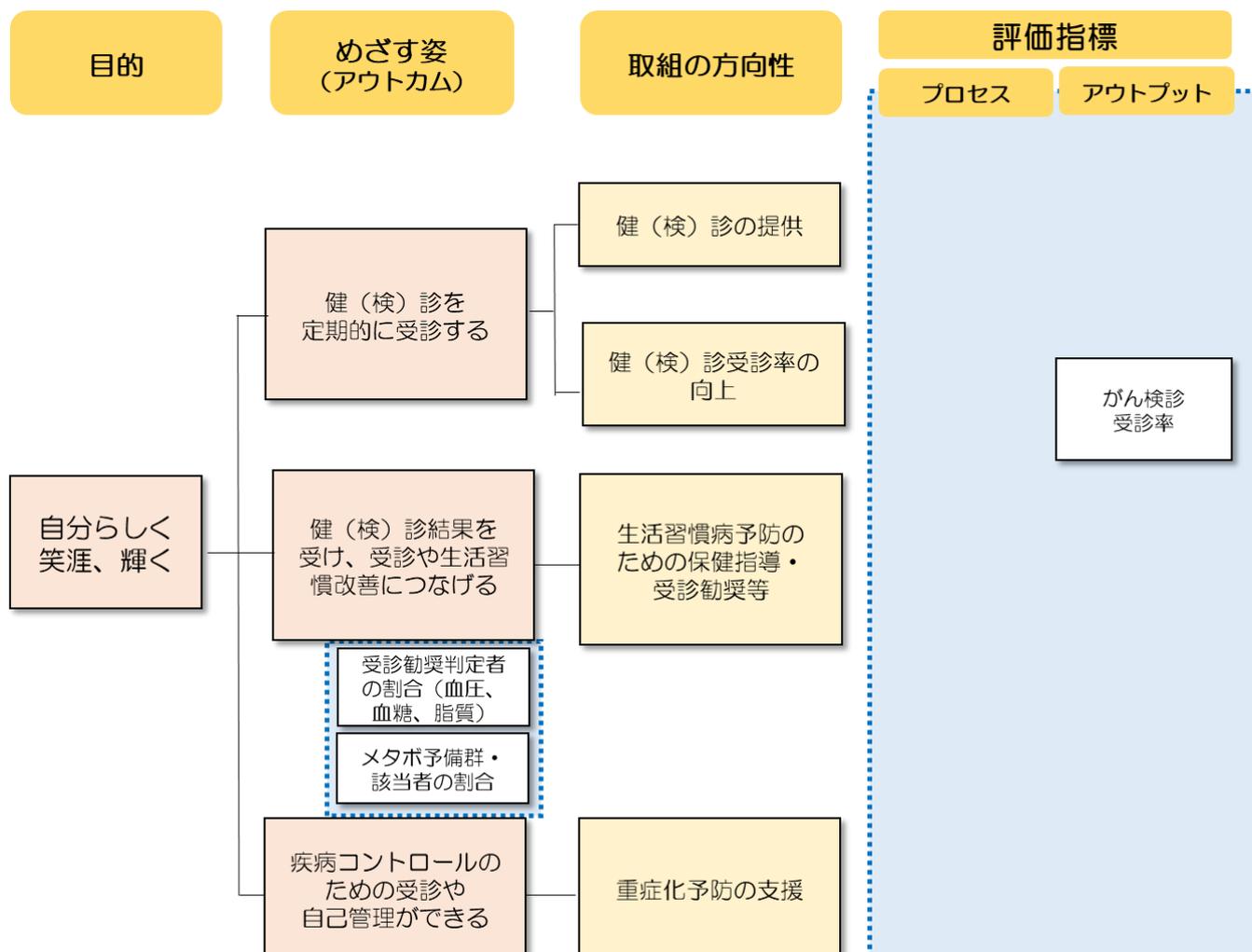
健（検）診・重症化予防

生活習慣病の予防のためには、日頃から自分自身の健康状態に関心を持ち、健康管理を行っていくことが重要です。そのためには、定期的に特定健康診査やがん検診等を受診し、健（検）診結果に基づいた指導に従い、生活習慣を改善することで、発症予防に努めるとともに、病気の早期発見・早期治療に結びつけることが必要です。また、重症化を予防するために、生活習慣病等の慢性疾患がある場合は、コントロールのため、定期受診や自己管理をすることが重要です。

分野でめざす姿

- 1 健（検）診を定期的に受診する
- 2 健（検）診結果を受け、受診や生活習慣改善につなげる
- 3 慢性疾患のコントロールのために定期受診や自己管理ができる

取組と評価の関連図



分野でめざす姿1 健（検）診を定期的に受診する

現状・課題

現 状	<ul style="list-style-type: none"> 健診受診率 過去1年間に健診受診（人間ドック含む）なし 40.1% 受診していない理由 「費用がかかるから」「特にない」「面倒だから」 がん検診受診率 過去1年間にがん検診の受診なし 46% 受診していない理由 「特にない」「忙しいから」「面倒だから」
課 題	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病の予防のためには、日頃から自分自身の健康状態に関心を持ち、健康管理を行えるよう、自身の健康の振り返りにつながる健診受診の必要性について周知啓発を行うことが重要。 市が実施する健診では職域で受診した状況を把握できないため、職域保健と連携しながら、健（検）診の受診率向上に努める必要がある。

取組と評価指標

市民 	次世代 ★	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に健（検）診を受診する
	就労世代 ★	
	高齢世代 ★	

（1）健（検）診の提供

行政



健（検）診受診機会を提供します。

対象	室課名	取組内容
次世代	保健センター	<ul style="list-style-type: none"> 各種健診を実施する （妊婦健康診査、産婦健康診査、乳幼児健診）
	保育幼稚園室	<ul style="list-style-type: none"> 市立保育園において定期健診を実施する
	保健給食室	<ul style="list-style-type: none"> 市立幼稚園や小中学校において定期健診を実施する 子どもの生活習慣病予防検診を実施する
	杉の子学園 わかたけ園 地域支援センター	<ul style="list-style-type: none"> 定期健診を実施する

対象	室課名	取組内容
就労世代 ～ 高齢世代	保健センター	・各種健（検）診を実施する （がん検診、各種検診、30歳代健康診査）
	国民健康保険課	・吹田市国保健康診査及び後期高齢者医療健康診査を実施する
	生活福祉室	・生活習慣病予防健康診査を実施する

地域団体



健（検）診受診機会を提供します。

対象	地域団体名	取組内容
就労世代 ～ 高齢世代	商工会議所	・定期健康診断の実施 （集合健診、個別健診、出張健診）

（2）健（検）診受診率向上



行政



生活に身近な場などで、健（検）診受診の必要性について周知啓発を行うとともに、受診率向上のための取組を行います。

対象	室課名	取組内容
就労世代 ～ 高齢世代	保健センター	・SNSを活用し、健（検）診の案内を行う ・健（検）診ガイドブックを全戸配布する ・保険会社と連携し、健（検）診ガイドブック等の情報ちらしを配付する ・特定の対象者にがん検診の案内を個別に通知する
	国民健康保険課	・国保加入者に、各種がん検診等の一部負担金助成を行う ・国保若しくは後期高齢医療保険加入者に、人間ドックの費用を助成する ・特定健診未受診者勧奨業務を外部委託にて実施する



評価指標	現状値 令和元年度 (2019年度)	目標値 令和8年度 (2026年度)
(健康まちづくり室) がん検診受診率	胃がん 24.3% 肺がん 16.8% 大腸がん 25.0% 乳がん 34.0% 子宮がん 31.0%	

出典：健康に関する市民意識アンケート調査

分野でめざす姿2

健（検）診結果を受け、受診や生活習慣改善につなげる

現状・課題

現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導受講率 <table border="0"> <tr> <td>国保</td> <td>33.9%</td> <td>(H30実績値)</td> </tr> <tr> <td>協会けんぽ</td> <td>9.5%</td> <td>(H30実績値)</td> </tr> </table> <p>※協会けんぽ大阪支部</p> ・有所見割合（H28国保+協会けんぽ健診受診者の受診勧奨域） <table border="0"> <tr> <td>血压</td> <td>男性 29.9%</td> <td>女性 22.6%</td> </tr> <tr> <td>血糖</td> <td>男性 14.8%</td> <td>女性 8.2%</td> </tr> <tr> <td>高LDLコレステロール</td> <td>男性 2.8%</td> <td>女性 4.6%</td> </tr> </table> 	国保	33.9%	(H30実績値)	協会けんぽ	9.5%	(H30実績値)	血压	男性 29.9%	女性 22.6%	血糖	男性 14.8%	女性 8.2%	高LDLコレステロール	男性 2.8%	女性 4.6%
国保	33.9%	(H30実績値)														
協会けんぽ	9.5%	(H30実績値)														
血压	男性 29.9%	女性 22.6%														
血糖	男性 14.8%	女性 8.2%														
高LDLコレステロール	男性 2.8%	女性 4.6%														
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病の予防や病気の早期発見・早期治療につなげられるように啓発を行う必要がある。 ・受診勧奨や保健指導を行うことで、重症化を防ぐことが重要である。 ・早期発見・早期治療につなげるため、がん検診で精密検査が必要と判定された場合は、受診することが重要であることを啓発する必要がある。 ・データヘルスを用いた重症化予防の取組を進めていく必要がある。 															

取組と評価指標

市民



次世代

就労世代★

高齢世代★

- ・健診結果を踏まえて、医療機関の受診や生活習慣の見直しを行う。
- ・がん検診で精密検査が必要と判定された場合は、受診する。

(1) 保健指導・受診勧奨等の実施



行政



健診結果を踏まえ、保健指導や受診勧奨等が必要な方に対して、アプローチを行います。

対象	室課名	取組内容
次世代	保健給食室	・生活習慣病予防検診にて、小学5年生、中学2年生全員に調査票や肥満度によるスクリーニングを行い、肥満度20%以上の児童・生徒などに二次検診として医療機関による個別健診を促す
就労世代 ～ 高齢世代	保健センター	・特定保健指導を外部委託で実施する ・がん検診の精密検査未受診者へ受診勧奨を行う ・30歳代健康診査受診者の血圧・血糖高値者へ受診勧奨を行う ・国保健診受診者で、特定保健指導対象外の血圧・血糖高値者へ受診勧奨を行う
	生活福祉室	・健康管理支援員（看護師）が、生活保護受給者のうち必要な者の受診に同行し、医師の説明を受け、適切に医療が行われるよう支援する
高齢世代	高齢福祉室 保健センター 国民健康保険課 健康まちづくり室	・保健事業と介護予防の一体的実施としてハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチを実施する

地域団体



健診結果を踏まえ、保健指導や受診勧奨等が必要な方に対して、アプローチを行います。

対象	地域団体名	取組内容
就労世代 ～ 高齢世代	医師会★	・特定保健指導の実施



評価指標			現状値 令和元年度 (2019年度)		目標値 令和8年度 (2026年度)	
受診 勧奨 判定 値者 の 割合	血糖 (HbA1c6.5%以上)	男性				
		女性				
	血圧 (収縮期血圧140mmHg 拡張期血圧90mmHg)	男性				
		女性				
	脂質 中性脂肪300mg/dl LDLコレステロール 140mg/dl	中性脂肪	男性			
			女性			
LDLコレステロール		男性				
		女性				
メタボリックシンド ロームの該当者及び 予備群の割合	男性	該当者				
		予備群				
	女性	該当者				
		予備群				

出典：国保健診、30歳代健診、協会けんぽ健診受診者の結果

分野でめざす姿3

慢性疾患のコントロールのため、定期受診や自己管理ができる

現状・課題

現 状	高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病は高齢になるにつれて、罹患者が増加
課 題	<ul style="list-style-type: none"> 心疾患や脳血管疾患などの生活習慣病による重症化を防ぐだけでなく、フレイル予防や、認知症予防にもつながるため、生活習慣病の管理が重要である。 慢性疾患のコントロールのため、定期受診や自己管理が将来の健康、及びQOLのために重要である。

取組と評価指標

市民



次世代

就労世代 ★

高齢世代 ★

・慢性疾患のコントロールのための受診や自己管理ができる

(1) 重症化予防の支援



行政



重症化を予防するために、定期受診や自己管理のために必要な支援を行います。

対象	室課名	取組内容
就労世代 ～ 高齢世代	保健センター	<ul style="list-style-type: none"> 吹田市国保健診受診者で、血糖高値者で腎機能低下がある方に対し、主治医と連携し、6か月間保健指導を実施する 吹田市健診受診者を対象に、心不全の危険因子のリスク測定と、保健指導を実施する
高齢世代	高齢福祉室 保健センター 国民健康保険課 健康まちづくり室	<ul style="list-style-type: none"> 保健事業と介護予防の一体的実施としてハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチを実施する

地域団体



重症化を予防するために、定期受診や自己管理のために必要な支援を行います。

対象	地域団体名	取組内容
全世代	医師会★	・かかりつけ医による治療、指導等を行う
	薬剤師会★	・かかりつけ薬局による服薬等の指導等行う

■ 「暮らし」にとけこむ健康づくりの取組



- ・ナッジを活用し、健診受診率向上につながる取組を展開する
- ・「暮らし」にとけこむ場での健（検）診受診に関する周知啓発を展開する
- ・SNS を活用して健（検）診受診に関する周知啓発を展開する

例えばこういった取組が考えられます

- ・健診を受診することで、インセンティブが受けられる
- ・健診が普段行く身近な場所で気軽に受けることができる
- ・ナッジを活用した健診受診勧奨の案内文（暮らし等）を作成する